

マスメディアと統計

総務庁統計局

統計基準部長 大戸 隆 信

「犬が人をかんでもニュースにならないが、人が犬をかめばニュースになる。」と言われます。マスメディアの記者さんたちは、珍しい出来事、他の人が気付いていない重大事を早く発掘して読者をつかまえようと、日々激しい競争を繰り広げています。また、テレビの世界には「絵になる」という言葉があります。珍しいことでも、重要なことでも、テレビの画面で視聴者の目を引くものでなくては取り上げにくいというわけです。かくして、新聞紙面やテレビ画面には、興味深いあるいは目を引くニュースがあふれています。このようなニュースばかりを基にして、例えば外国のことを理解しようとするとうどうでしょう。そこには美しい景色、整った街並み、広い庭のある邸宅、豊かな生活が出てきます。しかし、家計のやりくりの苦勞、将来への不安などはうかがえません。そこから形成される外国のイメージは限りなく美化ないし誇張されていきます。

最近では外国旅行も普通のことになり、私たちは自分の目で耳で確かめることができます。街を歩いてみると華やかなメインストリートからちょっと入ったところに崩れかかった家が並んでいたりします。最新のファッションの人がいるかと思えばそうでない人もいます。「百聞は一見に如かず」といわれるように、誤ったイメージを自分の実感を通じて正すことができます。それでも個人個人が経験できる範囲は極めて限られています。ですから正されたはずのイメージにも偏りがあるかもしれません。

そこで登場するのが私たちの仕事の成果である「統計」です。客観的な統計数字によって産業の状況や人々の暮らし向きなどを知ることができま

す。ある国と別の国を比較することもできます。このため国連を始め国際機関では統計を極めて重要視し、国際基準の設定などを通じて基礎的統計の整備と国際比較性の向上に力を注いでいます。国内の状況を知るためにも、国際間の比較をするためにも統計は不可欠です。

ところで、統計の世界では「平均」が最もよく使われます。一人当たりの所得を比べて経済力を比較し、一人当たり部屋数を比べて住宅事情を比較するという具合です。平均は最もわかりやすい概念ですし、全体の代表値として、比較に一番適しています。ただ、平均的なものというのはいわば普通のありふれたものであってマスメディアが目をつけやすいものではなく、絵になりにくいものです。統計が人々にアピールしにくい要因はこのあたりにあるのかもしれませんが。また、統計は数値化できないものを表わすことができません。人の心に強く訴える「美しさ」とか「人情」などは最も苦手な分野です。

マスメディアの場合は、平均値ではなくいわば最大値や特異値を追求し、あるいは美や感動を伝えることに力をいれていますから印象度において勝るのは当然でしょう。しかし、それだけですと自分の国の平均値（あるいは記者の生活実感）と相手の国の最大値とを並べて「外国では……」と偏った比較をする恐れが大いにあります。

統計の客観性とマスメディアの印象度、優劣を比較すべきものではありません。それぞれの特長を生かしつつバランスよく（望むらくはもう少し統計にウェイトをおいて）活用されるよう期待したいものです。

※総務庁「統計局・統計センター報 第428号」より

いばらきの経済

農 業 ～全国に誇る農産物

本県は、全国に誇ることができる農産物が数多くあります。その中で、全国シェアの高い農産物をみると、米や豚等のように全地域でまんべんなく生産されているものなどと、特定の地域や市町村で大部分が生産されている作物とに分けることが出来ます。そこで、地域的に特徴のある主な農産物を紹介しましょう。

◆ 露地メロン

露地メロンの粗生産額は全県で約235億円で全国第2位、全国シェア21.5%の地位を占めています。その中で、旭村(25.9%)、鉾田町(24.7%)、八千代町(14.8%)の3町村で全県の6割以上を生産しています。

◆ かんしょ

かんしょの粗生産額は全県で約182億円で全国第2位、全国シェア16%となっており、鉾田町、ひたちなか市、旭村で多く生産されています。

◆ レタス

レタスの粗生産額は全県で約96億円で全国第2位、全国シェア11.1%を占め、岩井市(36%)、境町(14.7%)、結城市(12.2%)など県西地域で多く生産されています。

◆ はくさい

はくさいの粗生産額は全県で約92億円で全国第2位、全国シェア15.5%を占め、八千代町(29.3%)、結城市(13.8%)、三和町(12.6%)など県西地域で多く生産されています。

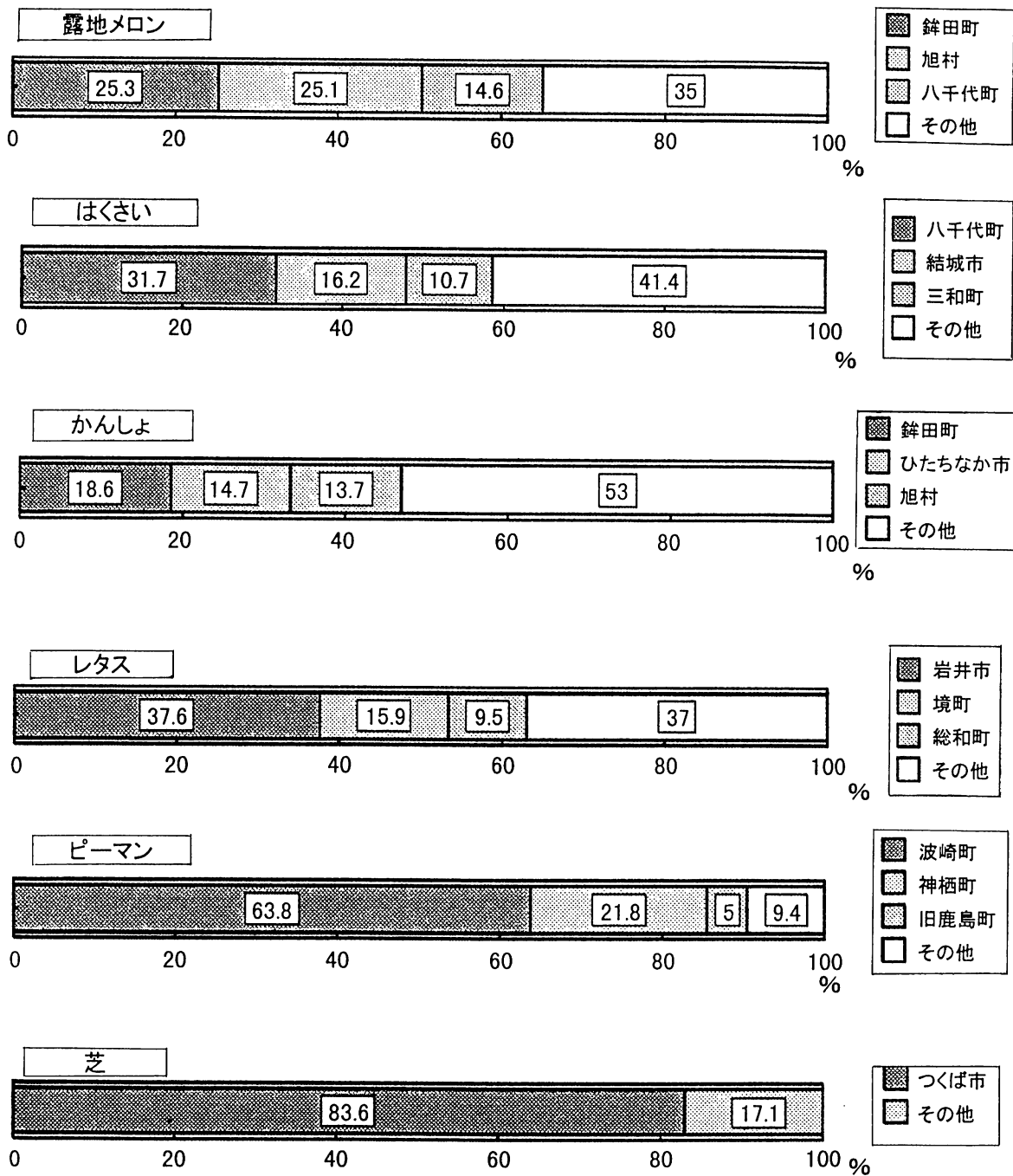
◆ 芝

芝の粗生産額は全県で約89億円で全国第1位、全国シェア41.2%を占め、その大部分がつくば市(83.6%)で生産されています。

◆ ピーマン

ピーマンの粗生産額は約83億円で全国第2位、全国シェア15.7%を占め、波崎町(62.2%)、神栖町(22.1%)など鹿行地域で大部分が生産されています。

主な農産物の農業粗生産額に占める上位市町村別内訳



資料: 農林水産省「茨城県の生産所得統計(6年)」

※ 県統計課「いばらきの経済」より